

製品名: MTHFR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14212**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	MTHFR
別名	MTHFR; Methylenetetrahydrofolate reductase
遺伝子 ID	4524.0
SwissProt ID	P42898
免疫原	抗血清はヒト MTHFR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 314-363

背景

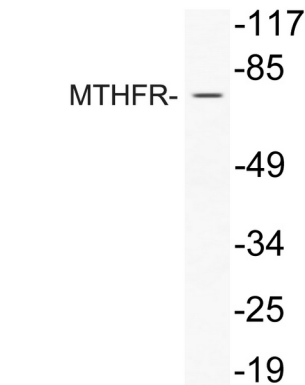
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、5,10-メチレンテトラヒドロ葉酸から 5-メチルテトラヒドロ葉酸への変換を触媒する。5-メチルテトラヒドロ葉酸は、ホモシステインからメチオニンへの再メチル化の補助基質である。この遺伝子の遺伝的変異は、

閉塞性血管疾患、神経管閉鎖不全、大腸がん、急性白血病への感受性に影響を与え、この遺伝子の変異はメチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素欠損症と関連している。[RefSeq 提供、2009年10月]、触媒活性: 5-メチルテトラヒドロ葉酸 + NAD(P)(+) = 5,10-メチレンテトラヒドロ葉酸 + NAD(P)H、補因子: FAD、疾患: MTHFR の欠陥は、メチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素欠損症 (MTHFRD) の原因である[MIM:236250]。MTHFRD は、ホモシステイン尿症、ホモシステイン血症 (MIM:603174)、発達遅滞、重度の知的障害、周産期死亡、精神障害、および発症が遅い神経変性疾患など、幅広い症状を伴う常染色体劣性疾患です。疾患: MTHFR の欠陥は、葉酸感受性神経管閉鎖不全 (葉酸感受性 NTD) [MIM:601634]の感受性を高める原因となる可能性があります。最も一般的な NTD は、開放性二分脊椎 (脊髄髄膜瘤) と無脳症です。疾患: MTHFR の欠陥は、虚血性脳卒中[MIM:601367]の感受性を高める原因となる可能性があります。虚血性脳卒中は、脳血管障害または脳梗塞としても知られています。脳卒中は、脳の神経組織の壊死につながる急性神経学的事象であり、運動機能、感覚機能、および/または認知機能の喪失をもたらします。血管閉塞に起因する虚血性脳卒中は、多くの遺伝的および環境的危険因子を伴う異質な疾患群からなる非常に複雑な疾患であると考えられています。酵素制御: S-アデノシルメチオニンによってアロステリックに制御されます。機能: 5,10-メチレンテトラヒドロ葉酸から 5-メチルテトラヒドロ葉酸への変換を触媒します。5-メチルテトラヒドロ葉酸は、ホモシステインからメチオニンへの再メチル化の補助基質です。オンライン情報: メチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素のエントリ,オンライン情報: シンガポールヒト変異および多型データベース,経路: 一炭素代謝;テトラヒドロ葉酸経路。多型:MTHFR の遺伝的変異は、閉塞性血管疾患、神経管閉鎖不全 (NTD)、大腸がん、急性白血病への感受性に影響を与える。類似性:メチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素ファミリーに属する。サブユニット:ホモ二量体。

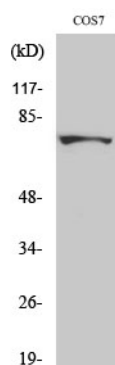
研究分野

葉酸による1つの炭素プール;メタン代謝;

画像データ



MTHFR 抗体を使用した、フォルスコリンで処理した COLO205 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



MTHFR ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

